

日時：2025年12月25日

事業：JST(科学技術振興機構)日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業(NEXUS)

2025年度若手人材交流プログラム (JST-NEXUS)

交流計画のテーマ：魚由来アルブミンセンサーによる合成オピオイドの迅速検出

Fish-Derived Albumin Sensor for Rapid Detection of Synthetic Opioids

交流期間：2026年2月～2026年12月

畠永昌人教授の上記の公募に採択されました。

本事業により、インドネシアのカリマンタン工科大学、スラバヤ工科大学、ボルネオタラカン大学から、若手研究者と大学生・大学院生を数回にわたって招聘します。また、佐賀大学からも畠永教授と大学院生が先方研究機関を訪ねて、共同研究をとおして若手研究人材との交流を深めます。

下記、JST HP のプレスリリース (12/25, 2025) より

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1822/index.html>

-----  
NEXUSでは、「日ASEAN友好協力50周年」を機に、日本とASEANの長きにわたる国際共同研究や研究人材交流の取り組みを基盤とし、双方の強みを生かした柔軟で重層的な科学技術協力を推進しています。

その取り組みの1つである若手人材交流プログラムでは、日ASEAN諸国の若手研究人材の相互交流や関係構築、国際頭脳循環の活性化および次世代の優秀な研究者の育成に貢献することを目指します。

-----